

■大給恒(松平乗讓) 大名として先進的活動, 維新後は, 佐野常民と赤十字を創設発展させ, 賞勲制度を創設し, 差配。

おぎゅうゆずる

蛮社の獄・・1839= 江戸麻布龍土藩邸で奥殿藩主松平石見守乗利の次子に生まる。

阿部正弘首座1845= 6歳:

孝明天皇・・1846= 7歳: 藩校尚学館に入学。

・・・・・1848= 9歳:

尊徳報徳論・1851=12歳: 乗出し(名代勤め), 將軍家慶に御目見得。

万次郎帰国・1852=13歳: 父乗利が隠居し, 家督を相続して襲封(1万6千石),

ペリー来航・1853=14歳: 従五位下・兵部少輔に任ぜられ, いみなを乗讓と称し, 農兵隊歩人隊・非常先手足輕組を編成。

開国開港・・1854=15歳: 父乗利が死去。

安政大地震・1855=16歳: 松平近江守臣服部蘭台に師事, 稚号龍岡と称す。三河に入部。

蕃書調所・・1857=18歳:

五ヶ国条約・1858=19歳: 常陸下館2万石石川若狭守姉と婚姻。

安政の大獄・1859=20歳: 嫡子乗健(後に左)誕生。

桜田門外変・1860=21歳: 日光祭礼奉行命ぜられる。

早くから蘭学と仏語を学び, 練兵は諸藩に率先して仏式を採用した。

8月18日政変 1863=24歳: *信州領本邑移転許可され, ここに箱館の五稜郭と同じ積塗式築城法を採用した新陣屋五稜郭建設に着工。

禁門の変・・1864=25歳: 若年寄退役・再勤後, 辞職。

薩摩藩士密航1865=26歳: 三州領民の本領信州引越し反対暴動が起こる。陸軍奉行。若年寄次席を経て若年寄に復帰。

薩長同盟・・1866=27歳: 老中格に進み, 陸軍総裁を兼ね, 意を兵制改革に用い, 仏式兵制による農兵非常先手編成。

大政奉還・・1867=28歳: 大坂で, 仏国公使ロッシュより幕政改革につき意見を求め, これを実行に移す。將軍徳川慶喜が大政を奉還するや, 諸侯の衆議を徴して上下の議事院を開き, 將軍を上院の上位に置くこと, 諸藩兵を廃して政府の海陸軍を編制し, 將軍の指揮下に置くことを論じ, ついで老中3名とともに海路西上し, 慶喜に大政奉還の早計なることを進言した。新陣屋五稜郭竣工。

明治維新・・1868=29歳: *陸軍総裁を免ぜられ老中格を辞し, 帰藩。上洛して勤王誓詞を提出のため参内し, 謹慎命ぜられる。〈戊辰戦争〉には北越に出兵し, 謹慎解除後, 藩名を龍岡に, 自らも大給と改姓。

戊辰戦争終・1869=30歳: 版籍奉還で龍岡藩知事となる。名を恒と改める。

廃藩置県・・1871=32歳: 廃藩に先だつてこれを辞した。新政府に出仕, 左院少議官に任ぜられる。

明治6年政変 1873=34歳: 式部寮御用掛をもって, 賞牌取調御用掛専務を命じられ,

佐賀の乱・・1874=35歳: 経費や事務局設置を建議,

初の民間工場1875=36歳: 元老院議官。旧幕御親藩松平氏宗族長となる。

三つの反乱・1876=37歳: *賞勲事務局設置とともに副長官, 以後, 生涯賞勲制定業務に携わることになる。

西南戦争・・1877=38歳: 佐野常民に協力して, 日本赤十字社の前身(博愛社)を創設, 副総長に就任。

大久保暗殺・1878=39歳: 賞勲局副総裁,

明治14年政変1881=42歳: 褒章制度始まる。

秩父事件・・1884=45歳: 子爵を授けられる。ジュネーブ条約加盟の建議書を政府へ提出。

帝国大学始・1886=47歳: 日本がジュネーブ条約に調印。

国民之友始・1887=48歳: 博愛社を日本赤十字社と改称。

初の対等条約1888=49歳: 勲章大幅増設。

帝国憲法発布1889=

帝国議会始・1890=51歳: 金鶏勲章制定(戦争準備)。

郡司千島探検1893=54歳:

日清戦争始・1894=55歳: <日清戦争>起るや金鶏勲章条例調査委員を命ぜられ,

日清戦争終・1895=56歳: 賞勲局総裁に進み,

白馬会・・・1896=57歳: 旭日大綬章。

Bushidou・・1899=60歳: 枢密顧問官に任ぜられた。

教科書疑獄・1902=63歳:

日露戦争終・1905=66歳:

韓国反日暴動1907=68歳: 伯爵に叙せられる。

伊藤博文暗殺1909=70歳: 枢密顧問官に任ぜられる。

韓国併合・・1910=71歳: *正二位旭日桐花大綬章後, 没した。

賞勲の事務に鞍掌すること30余年, その職務のため, 日常の交際を絶つなど謹厳方正で知られた。総裁の名を署して授与された賞勲の総数115万と称せられる。

北野進「大給恒と赤十字」,